つくしの里通信

会　報
第7号

発行日：　平成 29 年 1 月 18 日
発　行：　特定非営利活動法人 つくしの里福祉会　**就労継続支援Ｂ型事業所 つくしの里**
〒　960－1241　　福島県福島市松川町字平舘１１－１
ＴＥＬ　　024－563－1515
ＦＡＸ　　024－563－1516

ご あ い さ つ

特定非営利活動法人 つくしの里福祉会　　理 事　**柳 澤　克 重**

つくしの里福祉会が松川町平舘の現在地で支援事業を行うようになって、早や４年目となりました。その間、地域の皆様の深い理解と力強いご支援を賜りました事に対し、心から感謝申し上げます。

つくしの里が行う主な授産活動は、利用者による彼岸花の製造販売と、米を素材にしたポンせんべいの製造販売であります。今後は更に品質向上と販路拡大に努め、利用者の収入増を図ってまいりたいと考えております。つくしの里が地域の皆様の一層のご理解を深めるため地域の祭りなどの行事に積極的に参加したいと思います。

◇最近目にしたエッセイの中から◇

昭和５９年にマザーテレサが来日した際に、通訳を務められて著書も多数あるキリスト教カトリック修道女、渡辺和子さんの言葉の中から『今という瞬間を意識して生きたいと思う。「今の心」と書くと「念」という字になると気付いた時、「念ずれば花開く」という言葉の意味がわかるように思ったものです。』「念ずれば花開く」これは、ただじっとお願いしていれば夢が叶うという意味ではありません。本当の意味は、今、目の前にある事を一生懸命やるように努力すれば、おのずからひらける。夢や目標が叶うという意味です。

心を今に集中させ、日々小さな幸せを大切にしたいものです。

年の始めは仕事、暮らし、健康など、さまざまな場面で目標を立てるのにふさわしい月です。私も含め誰でも面倒なことを避け楽をして生活しようとする傾向がありますが、しかし、健康にかんしては、辛くても腹八分目を守り、早歩きをする、階段を使うなど、ほんの少し自分に厳しくなって身体に良いことを継続する、そんな年にしたいと思います。

お世話になっている皆様

つくしの里は地域の方々から多くのご支援を頂きながら活動を続けております。

今号で２回目になります今回は、つくしの里の授産事業の中でも特に主要な彼岸花作製に関連した材料について、ご協力頂いた皆様をご紹介いたします。

春彼岸のお墓参りの時に、辺り一面に造花がお供えしてあるのを見かけたことはあるでしょうか？現在は生花も多々見られますが、北国のあちらこちらで造花をお供えする風習が残っております。

つくしの里はその昔ながらの心温かな風習を、未来まで変わらず残したいと願って、彼岸花を作製する毎日です。

毎年彼岸花は9万本程度作製していますが、その材料となれば、かなりの量が必要になります。中でも竹ひごに使う竹と、花をとめるための桑は必需品です。

竹林で竹を伐り出して竹ひごに製材し、できた竹ひごに桑を刺して花びらを重ねていきます。

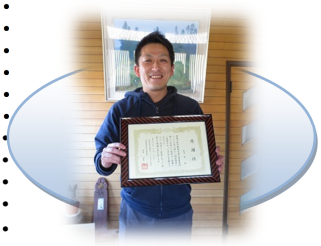
そこで竹材や桑の枝を提供頂いておりますのが、これから紹介いたします皆様方です。

（順不同でご紹介いたします。ご了承ください）

皆様には日頃からのご協力、誠にありがとうございます。ささやかながら感謝状をお贈りしました。

緑川工業
代表 〇〇〇〇 様

敷地内で切った竹を数多く提供して頂きました。



鈴木秀ｶｲﾛﾌﾟﾗｸﾃｨｯｸ
施術院　〇〇〇 様

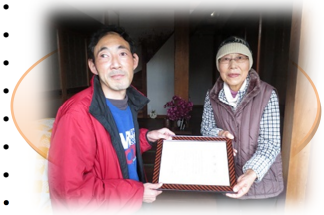
何年にも亘って竹材を提供して頂きました。

二本松市
〇〇〇〇 様

長年に亘り桑畑の手入れに加え、桑の枝を提供して頂きました。

福島市
〇〇〇〇 様

保護者さんのご紹介で、桑の枝を提供して頂きました。



つくしの里が安定して活動を続けられるのは、地域の皆様のご理解とご協力の賜物です。心から御礼を申し上げます。これからも今までと変わらぬ温かいご支援を、宜しく願い致します。

今号から感謝状をお贈りしましたが、前回ご紹介した皆様にも、遅ればせながらお贈りしました。

♪ SAYAN幻想演奏会 ♪

１０月３１日「ＳＡＹＡＮ幻想演奏会」が、松川学習センターの体育館で行われました。ＳＡＹＡＮさんは遥々広島から毎年福島の事業所を巡り、ボランティアで民族楽器の演奏活動をしております。今年は SAYAN のメンバーの他にもうひとかた「功さん」も加わり、楽しい演奏を皆で体験しました。また、今回は多くの事業所や地域の方々も参加されて、皆様と交流を深めながら大盛況のうちに幕を下ろしました。SAYAN さん、功さん、素敵な演奏会を本当にありがとうございました！

旅　行　会

去る９月１６日に山形の上山周辺を旅行しました♪でん六の工場見学から始まり、芋煮定食を食べて上山城見学。そして最後にぶどう狩り。今回の旅行は秋の味覚が満載！でん六の工場見学では解説を交え、２４時間厳しい衛生管理のもと生産している様子を学ぶことができました。ぶどう狩りでは班ごとに分かれて、３種類のぶどうを沢山食べました。おなかいっぱい夢いっぱい！なんと１人４房食べた班もあったようです。

チャリティーコンサート

１１月１４日県文化センターで日産ユーライフ様主催のチャリティーコンサートに参加し、劇団四季のミュージカル「王様とこじき」を鑑賞しました。初めての体験に、皆さん笑顔でした。

赤い羽根共同募金
街　頭　活　動

１０月４日福島駅前で赤い羽根共同募金の街頭活動をしました！力いっぱい大きな声で歩行者の皆さんに募金協力のお願いしました。多くのご協力に感謝です♪

福島市社会福祉協議会松川協議会様より寄付金を頂きました♪

１２月９日福島市社会福祉協議会松川協議会様から寄付金３万円を頂きました。長年にわたってつくしの里の福祉事業にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。利用者、職員一同、ご支援に応えられるよう一丸となって、日々の活動に励みたいと思います。

ラジオ福島様通りゃんせ基金よりポンせんべい機助成！

９月１２日にラジオ福島様せんべい機を頂きました。今まで使用していた機械は古くて、故障の度に修理を余儀なくされていました。新品を目の前にすると、焼く作業も気合が入ります。後日取材があり、その模様がラジオ福島より放送されました。この度は誠にありがとうございました。

つくしの里の方向性・・・。

サービス管理責任者

○○○○

私がつくしの里の職員になって４年が経ちました。障がい者福祉について詳しく分からないまま入った分野でしたが、周りの方々に支えられて、ここまでやってこられたと思います。しかし分からないことや不安なことはまだ沢山あります。

サービス管理責任者として、つくしの里を利用する皆さんにとって、毎日通いたいと思える場所を作れるように、作業内容などを工夫して、居心地の良い環境の中で、新しい経験や体験ができる場所になるように支援したいと思います。

また、地域の方々に助けられ、温かく見守ってくださるような、つくしの里にしたいと考えています。まずは私の出来ることを一歩一歩着実に実行し、利用者、職員ともに支え合い寄り添いながら、前に進みたいと思います。

私自身、未熟な点も多く皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

賛助会員募集

特定非営利活動法人つくしの里福祉会は、障がい者の自立と社会参加、及び生きがい作りに関する事業を行い、障がい者の社会参加の推進と地域の親交を通じ、障がい者への偏見等の差別を是正し、地域社会からの理解を深めることを目的として活動をしております。

このような事業の目的や活動に賛同し、ご支援くださる賛助会員を随時募集しております。何卒、つくしの里福祉会の社会福祉活動にご理解頂き、ご支援の程を宜しくお願いいたします。

年会費　１口　１，０００円　から

２８年度 賛助会員のご紹介

福島市　○○○○様
福島市　○○○○様
二本松市　○○○○様
伊達市　○○○○様
福島市　○○○○様
○○様
福島市　○○○○様
二本松市　○○○○様
福島市　○○○○様
福島市　○○○○様

福島市　㈱丸福織物　様
二本松市　小浜自動車整備工場　様
二本松市　新和自動車工業　様
福島市　㈱高電　様
福島市　NPO法人はなみずき様
福島市　向町町内会　様
本宮市　石橋建設工業㈱
代表取締役　石橋英雄　様

編集後記

今年度も残すところわずかになりました。何かと日々にかまけて、年々時が過ぎるのを早く感じてしまいます。折りを見て会報を編集していると、その早さの中で当たり前になってしまっている本当は大切なことが、たくさん身近に溢れていると改めて気付きます。

普段当たり前に思える事をよく振り返ってみれば、それは思いやりであったり日々の努力であったり、初動の感情はいつの間にか薄らいで、忘れてしまいそうになっているのかもしれません。

「プロとは何なのか？」棋士の大山永世名人は次のように答えました。「安定する事です。勝ち続ける事ではありません。勝率７割ならば、７回勝って３回負ける事を、安定して維持する事が大切です」

つくしの里は就労継続支援Ｂ型に移行して４年が過ぎようとしています。振り返ればあっという間の出来事で、失敗と成功を繰り返しながら、大局を捉えれば安定しつつも着実に成長しております。これもひとえに支援して下さる皆様の温かさゆえに思います。

寒い日が続きます。少しでも心温まる会報であるように切に願っております。皆様方どうぞご自愛ください。